

2020年9月10日

第65回運輸政策セミナー「Nextインバウンド」シリーズ Vol.2

横江友則様 ご報告

**「We can fly when the headwind
blows ー逆風の際は空を飛ぶー」**

に対するコメント

文教大学国際学部国際観光学科 教授

運輸総合研究所 客員研究員

小島 克巳

論点1. スルツとKANSAI・PiTaPA ①

- まずは事業者間の連携 → スルツとKANSAI協議会
 - 関西圏での利用者落ち込み・・・沿線人口の減少、JR西日本との競争、震災の影響など
- 次に各種施設とのタイアップ → スルツとKANSAI＋商業施設・観光施設
 - スルツとKANSAI 2dayチケット、大阪周遊パス、KANSAI THRU PASSなど

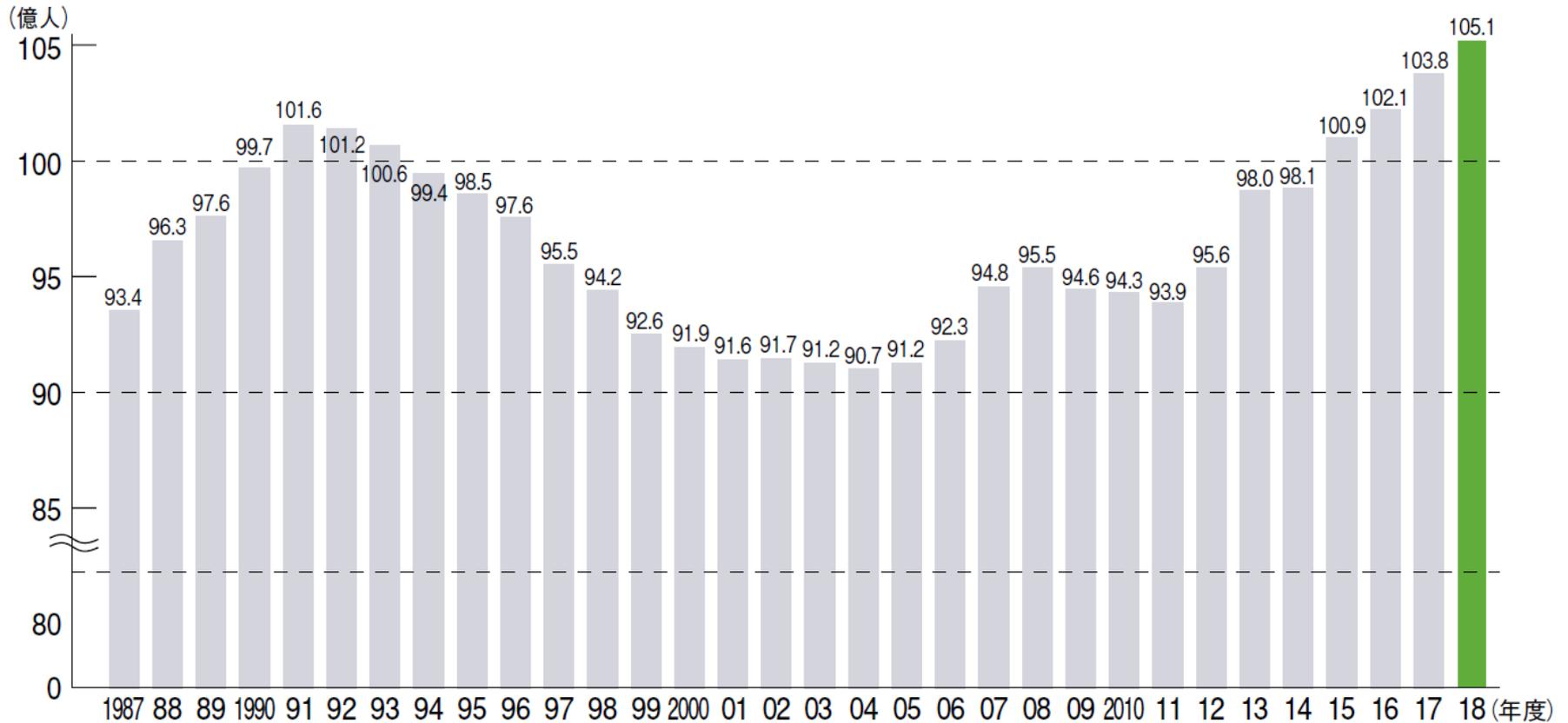


鉄道・バスの新たな需要創造へ

大手民鉄16社の輸送人員の推移

大手民鉄の輸送人員の推移

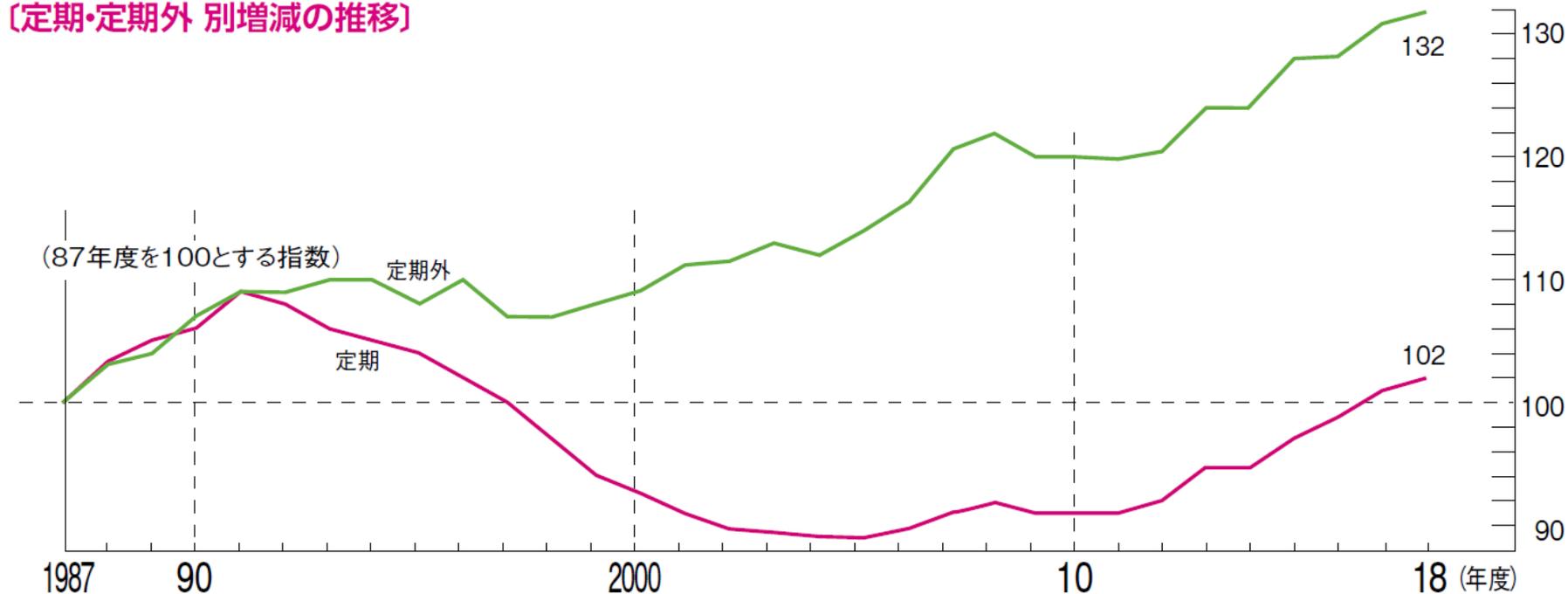
〔旅客合計の推移〕



(出所) 日本民営鉄道協会「大手民鉄データブック 2019」

定期・定期外の推移

〔定期・定期外 別増減の推移〕



年度	1987	88	89	1990	91	92	93	94	95	96	97	98	99	2000	01	02	03	04	05	06	07	08	09	2010	11	12	13	14	15	16	17	18
定期	100	103	105	106	109	108	106	105	104	102	100	97	94	93	91	89	89	89	89	90	91	92	91	91	91	92	95	95	97	99	101	132
定期外	100	103	104	107	109	109	110	110	108	110	107	107	108	109	111	112	114	112	114	116	121	122	120	120	119	122	124	124	128	129	131	102

(出所) 日本民営鉄道協会「大手民鉄データブック 2019」

論点1. スルツとKANSAI・PiTaPA ②

- スルツとKANSAI(磁気式プリペイドカード)
→ 2004年 PiTaPa(ポストペイ式ICカード)の誕生
- プリペイドとの比較において、ポストペイ方式のメリットとデメリットは？

	メリット	デメリット
交通事業者	交通以外の利用を含めた利用者へのポイント還元が容易	加入の手間による利用者数の伸び悩み
利用者	回数券・定期券的な運賃割引サービスの享受が可能	口座やクレジットカードとの紐付けが必要なため申し込み時に審査が発生

論点2. インバウンドへの対応

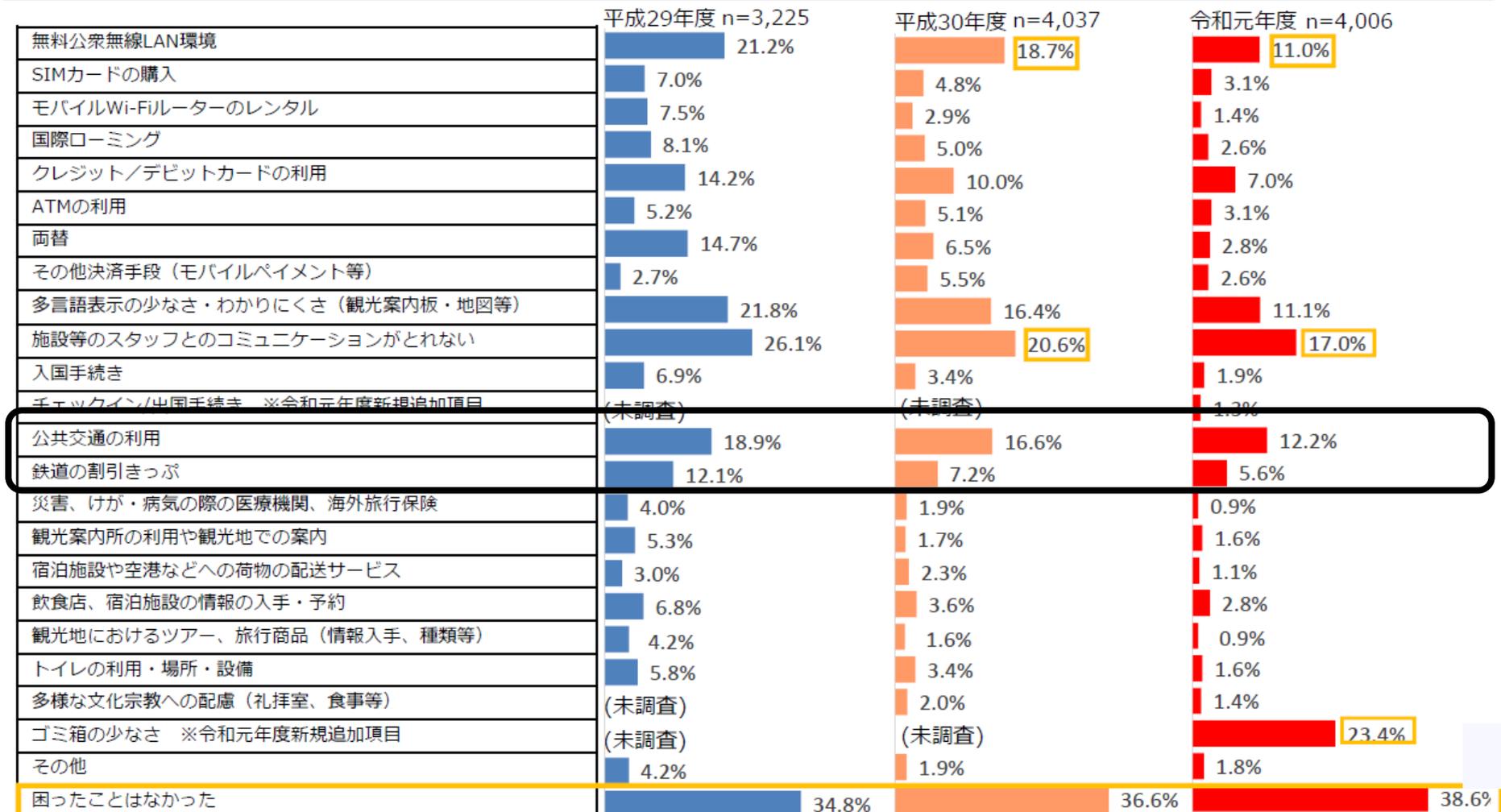
- 鉄道やバスの交通事業者の多さ(諸外国と比べて)
→ インバウンドにとって複雑で利用しにくい
- 観光庁のアンケート調査でも、「公共交通機関の利用で困った」との回答が多い



- KANSAI THRU PASSのようなインバウンド向け共通チケットの提供は非常に重要
- さらにリピーターの増加は地方誘客へのチャンス、インバウンドのスムーズな国内移動を実現するためには何が必要か？

調査結果 1. 訪日旅行中に全体を通して困ったこと 3か年比較

- 訪日旅行中全体を通して「困ったことはなかった」と回答した割合が過去最高の38.6%となり、継続調査している受入環境に関する各項目全てにおいても「困った」と回答した割合が減少した。
- 個別項目では従前から困った割合が高かった「施設等のスタッフとのコミュニケーション」は前年比3.6%減、「無料公衆無線LAN環境」は同7.7%減となったほか、今年度新たに調査項目に追加した「ゴミ箱の少なさ」が、23.4%と旅行中困ったことの第1位となった。

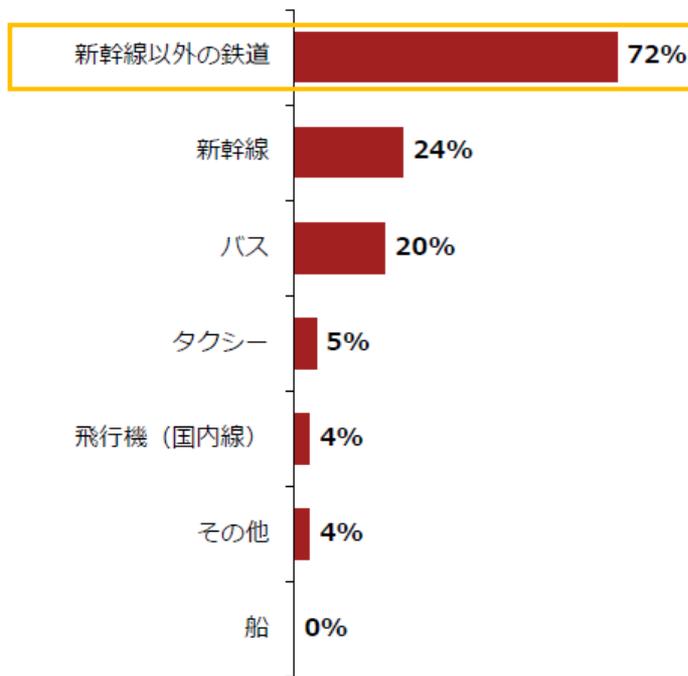


調査結果 2-4. 都市部/地方部の比較（困った施設・交通機関）⑤

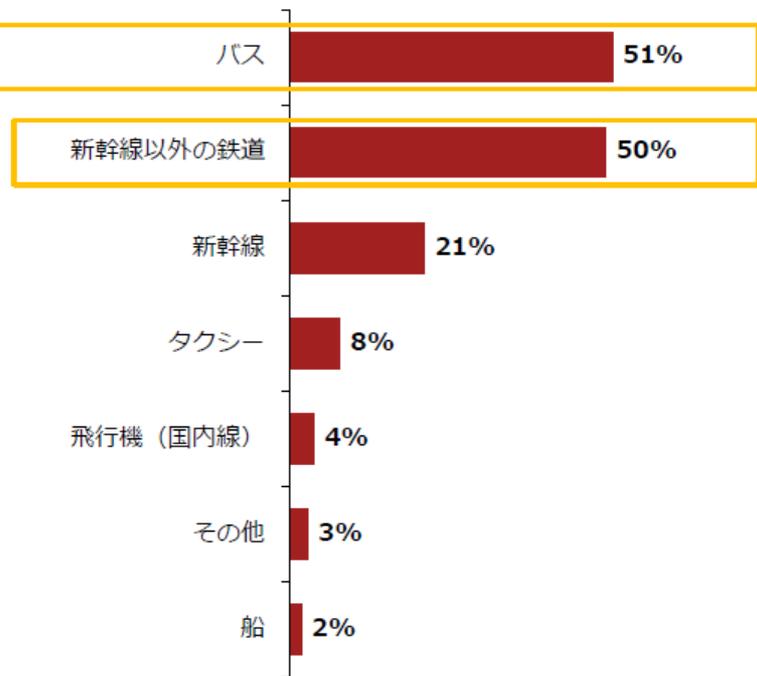
- 「公共交通の利用」について困る割合の高い交通機関としては、都市部では「新幹線以外の鉄道」を挙げる割合が突出して高い。
- 一方、地方部では「バス」及び「新幹線以外の鉄道」が高い。

「公共交通機関の利用」で困った公共交通機関

都市部
(母数=都市部で、「公共交通機関の利用」で困った人、n=408)



地方部
(母数=地方部で、「公共交通機関の利用」で困った人、n=98)



論点3. With/Afterコロナに向けて

- 民鉄ビジネスモデルの崩壊、鉄道事業＋関連事業での大幅減収
- 今後、「公共交通の安定的経営」と「地方活性化」にいかに取り組むべきか？
 - 「生活の中の交通」としての位置づけ・・・RaaS、SaaS、交通＋住居のサブスクリプション
 - インバウンド需要の取り込み・・・ALL JAPAN RAIL PASS、観光型MaaS
 - 国内需要の取り込み・・・観光型MaaS、リモートワーク、ワーケーション

質問

1. PiTaPaにポストペイ方式を導入するに至った経緯（ポストペイ方式のメリット・デメリット等）について
2. インバウンドのスムーズな国内移動（都市→地方、地域内）を実現するための課題について
3. 当面インバウンド需要が期待できない中での地方活性化の方向性、およびインバウンド需要回復後の方向性について